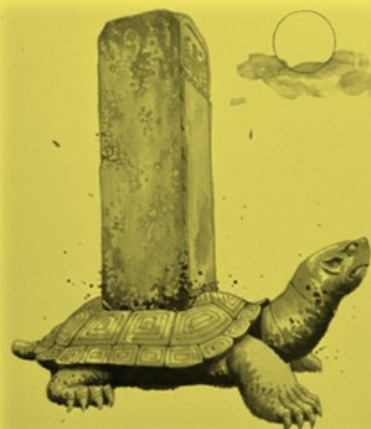




企画展「小泉ハ雲と松江の石 ハ雲が惹かれた石の趣き」を開催しています。

※ 3月29日(日)まで。



真夜中に這い出て蓮池で泳ごうとしたという

月照寺の大亀は、松平宗衍(松江藩6代藩主)の長寿を願って建立された、久多見石製の寿像碑(生前供養塔)です。

松江大橋の南詰にある大庭の音石は、昭和11(1936)年に大橋川の川底で発見され、引き揚げられた石です。大庭の音石は、叩くと鐘のように鳴る石であるとされています。



△ 月照寺の大亀
まつえ しそとながばらちやう
(松江市外中原町)

企画展 小泉ハ雲と松江の石 - ハ雲が惹かれた石の趣き -

△ 大庭の音石
まつえ ししらかたほんまち
(松江市白瀉本町)



八重垣神社の社日社(来待石製)は、五穀豊穡の神々の神名が刻まれた五角形の石柱です。

城山稲荷神社には、数多くの石狐が奉納されています。小泉ハ雲は、随神門前の一対を特に好んでいたと伝えられています。

これらは、いずれも『知られざる日本の面影』で紹介されています。



△ 八重垣神社の社日さん
まつえ しさくさちやう
(松江市佐草町)

△ 城山稲荷神社の石狐
まつえ しとのまち
(松江市殿町)



(嵩山の山頂は松江市上東川津町)

嵩山(326m)と和久羅山(262m)には、西から見た山容に因む「寝仙山」などの愛称があります。「阿弥陀寺の比丘尼」は、想い人を嵩山で待ち続け、岩に変じたという姫の伝説が題材となっています。



モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE



〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1

休館日：毎週火曜日(祝日の場合翌平日) ☎ 0852-66-9050



30th

来待ストーンは
令和8年度で
開館30周年
を迎えます。

開館：平成8(1996)年

へるんロードの夫妻像

